

「砺波市行政改革大綱」(案) に対するパブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの概要

(1) 実施期間 平成27年12月1日(火) から12月25日(金) まで

(2) ご意見の件数 1件

資料 4-2

2 提出されたご意見とそれに対する市の考え方

ご意見の内容	市の考え方
<p>《大綱2ページ》</p> <p>「今後の人口減少と少子高齢化の進行について」</p> <p>砺波市は他の市に比べて若い世代のメリットが見つけにくいように感じます。</p> <p>他の市は子育て、引越しなどの補助金があり、また子供の医療費助成が中学卒業までなど若い人はそちらに住みたいと感じるものです。</p> <p>砺波は3世帯居住で補助があるようで高齢者に優しい土地という感じです。</p> <p>三世帯推しもあってか、0歳からの保育所が著しく他の市に比べ少なく、若い世代には敬遠する原因となっています。</p> <p>そのようなことも視野に入れていただきたいと思いい見させていただきました。</p> <p>若い世代を呼び入れて高齢者と子供たちが健康に暮らせる街になることを願っています。</p>	<p>「若い世代の移住・定住」をはじめとした人口対策につきましては、市といたしましても喫緊の課題と考えており、昨年10月に策定いたしました「“となみ創生”まちづくり総合戦略」では、「交流・定住人口の拡大」や「結婚・出産・子育て支援」などを大きな柱とし、それに基づく各種の施策を展開しているところであります。</p> <p>ご指摘の医療費助成につきましては、当市においても少子化対策として中学3年生までの入院、通院に係る医療費の無料化を実施しています。(通院に関しては平成26年10月診療分から)</p> <p>そのほかにも、他市に先がけて市民税非課税世帯に対する保育所、幼稚園の保育料及び給食費の無料化も実施しています。</p> <p>また、0歳児からの保育につきましても、当市においては公立・私立併せて13の保育所があり、県内でも有数の保育環境にあるものと考えており、さらに、平成29年4月開園に向けた(仮称)出町認定こども園や保育施設整備により、3歳未満児の定員増を図るなどの取組を進めております。</p> <p>なお、「三世代同居推進事業」につきましては、世代間で支え合うことにより、「親世代」には高齢者の介護、生きがいの向上等「子世代」には家庭内での子育て負担の軽減、収入向上等「孫世代」には情操教育の完実、文化伝承などのメリットがあることから、人口対策事業の柱として積極的に取り組んでいるものであり、高齢者(親世代)のみを優遇した施策ではないことをご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>今後も、すべての世代の方々にとって住みよいまちづくりを進めてまいります。</p>